第 52 回一般社団法人 日本空手道道場会選手権大会
～申し合わせ事項～

競技規定

（公財）全日本空手道連盟競技規定および本大会申し合わせ事項に準じて行う。

〈A〉形競技（背番号の色 赤）

１）トーナメント方式で旗判定にて実施し、決勝戦まで各コートで行う。
２）２名にて赤・青同時に準決勝まで行い、決勝は１名にて演武を行う。
３）３位決定戦は行わない。ただし、参加人数少数の場合はこの限りでない。
４）一般有段者は２回戦まで全空連指定形、３回戦以降は自由形でよい。
他は２回戦まで全空連指定平安の形（太極可）、３回戦以降は自由形でよい。
５）同一形を続けてはいけない。
但し、幼児・小学１年生は同一形を決勝戦まで続けてよい。
６）赤・青どちらか棄権の場合は、演武は行わない。
ただし、赤・青どちらか反則の場合は、演武を続ける。
７）形チャレンジトーナメントは１回戦目から自由形とし、決勝戦まで同じ形を繰り返してよい。

〈B〉組手競技（背番号の色 黒）

１）全空連審判規定並びに本大会申し合わせ事項による。
２）トーナメント方式で行う。
３）競技時間
・準決勝まで 一般有段のみ２分６ポイント差、その他は１分３０秒４ポイント差
・決勝 一般有段・有級・一般女子・シニア男子・シニア女子・中学生は２分６ポイント差
小学生以下は１分３０秒４ポイント差
・先に規定ポイントを取るか、時間終了時ポイントの多い選手が勝者となる。
・同ポイントの場合は先取を有する選手が勝者となる。
・同ポイントで先取が無い場合はビックポイントで勝者を決める。
・同ポイントで先取無し、ビックポイント無し、または同数の場合は判定で勝者を決める。
４）３位決定戦は行わない。ただし参加人数少数の場合はこの限りでない。
５）決勝まで、各コートで行う。（ただし、進行状況により変更あり。）

〈C〉その他

入賞者の表彰は賞状が出来次第行うので、放送を良く聞く事。
安全防具 （組手競技）
１）ニューメンホー 出場選手全員着用。
２）拳サポーター 出場選手全員着用。
幼児、小学生は全空連検定品の赤・青のリバーシブル。
それ以外は全空連検定品の赤・青の拳サポーターとし、各選手が準備する
３）ボディプロテクター 原則空手衣の中に着用。
４）ファールカップ 小学生５年生以上の男子は、原則着用とする。
５）シンガードとインステップガード 原則着用。

障害処置

傷害保険は主催者が選手全員に一括加入します。
競技中の事故については応急処置を施し、病院で治療を受けた時は、
初診料を主催者が負担しますが、以後は参加者本人または保護者とする。
怪我のないよう充分注意してください。
念のため保険証を持参してください。

表彰

・優勝・準優勝・３位（メダルと賞状）、敢闘賞（賞状）、努力賞（幼児は全員）
※形チャレンジトーナメントと、組手4級～無級の部は賞状のみとなります。
※表彰者数は以下の通りとなります。
2～3名＝1名表彰 4～7名＝2名表彰 8～15名＝4名表彰
16～＝8名表彰 幼児＝全員表彰(優勝、準優勝、3位2名、敢闘賞4名、他努力賞)
・総合優勝（形と組手の優勝者）
※形チャレンジトーナメントの優勝者は対象外になります。
・礼節賞（賞状）を希望する道場会加盟団体は、各支部１名を大会当日までに申請する。(厳守)
※大会当日ですと競技進行の妨げになる為、事前に申請してください。